「亀岡カーボンマイナスプロジェクト」
食卓から地球を冷やそう！
農地炭素貯留野菜クルベジ

平成26年9月24日

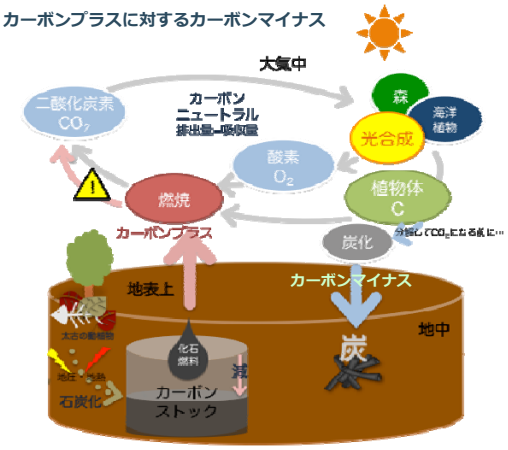
第3回竹フォーラム

日本バイオ炭普及会事務局長

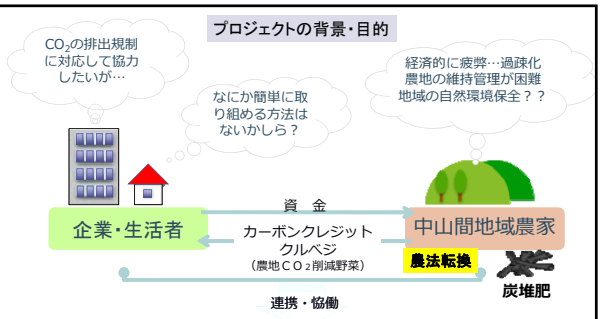
立命館大学地域情報研究センター

柴田 晃

○ カーボンプラスに対するカーボンマイナス



プロジェクトの背景・目的



気候変動緩和と地域振興の両立

①ＧＨＧ（温室効果ガス）削減

②環境保全ブランド農作物による地域振興

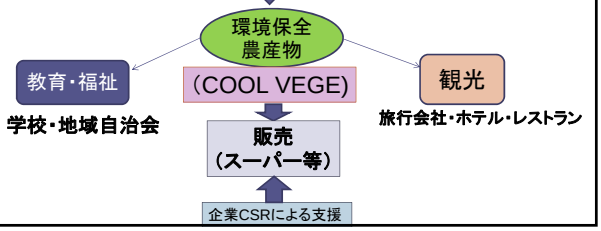
③企業・消費者参加型国民的環境保全活動

持続可能な「水・食料」の確保

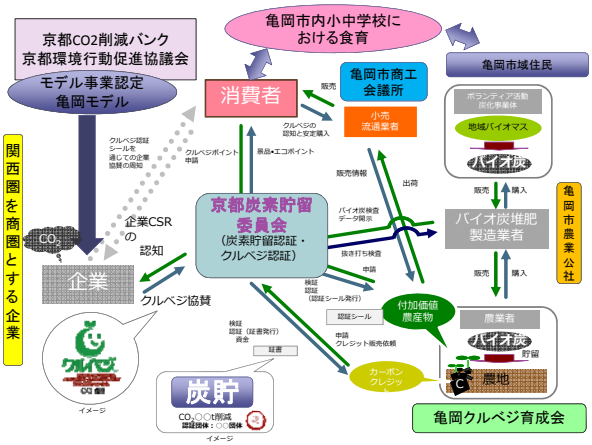
地域資源（森・山・川・海・農地・景観・・）
持続可能な管理・運営

地域未利用バイオマスを使ったバイオ炭による農業

環境保全地域総合ブランド



亀岡カーボンマイナスプロジェクトの概要

沿革

2008年　亀岡カーボンマイナスプロジェクト　取組開始(竹炭炭化と炭素貯留実験)
2009年　亀岡市立保津保育所で計6回の食育教室を実施
2010年　亀岡市立学校給食センターが全18小学校にクルベジ活用の給食を提供
2011年　企業協賛クルベジシールによるクルベジ一般市場販売開始
2013年　低炭素杯2013の地域活動部門で金賞(環境大臣賞)受賞